

2020年度

T 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

(3と解答する場合)

I . 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

古代ギリシアの人々は1つの民族としての自覚を持っており、自らをヘレネスと称し、異民族を「わけの分からない言葉話す者たち」という意味で（イ）と称していた。もっとも、ギリシアではポリス市民から零落して奴隷¹⁾になる者もいるなど、必ずしも異民族だけが従属的立場に置かれていたわけではない。

ギリシアの少し北、中央ヨーロッパでは、6世紀頃から進出してきたアヴァール人が勢力を誇ったがやがて衰退し、9世紀には西スラヴ人が現在のチェコとスロヴァキアにまたがる地域に（ロ）王国を建国した。ビザンツ皇帝が同国へ派遣した伝道師らは、スラヴ系言語を表記するための文字を考案するなど、布教につとめた。この国は東方から進出してきたマジャール人によって10世紀に滅ぼされたが、東フランクの王は955年の＜あ＞の戦いでマジャール人を撃退して後に教皇から帝冠を受け、これが神聖ローマ帝国のもととなった。（ロ）西部にチェック人が建てたベーメン王国もやがて帝国に編入された。14世紀にはベーメン王が神聖ローマ皇帝に即位するなど、同国は繁栄したが、15世紀に教会批判を行った聖職者フスが1414年から開かれた（ハ）公会議の結果処刑されると、彼を支持するチェコ系住民が反乱を起こした。1526年のオスマン朝⁴⁾との戦いでベーメン王が戦死すると、ハプスブルク家の王が即位した。

更に北、バルト海方面を見てみよう。8世紀末頃から遠征を活発化させたノルマン人のうち＜い＞を伝説的首領とする一派はバルト海を越えて東へ向かい、9世紀には（ニ）国を建てた。一方ノルマン人の居住地にはスウェーデンなどの王国が成立した。バルト海方面への覇権拡大を目論む両国の争いの舞台となったフィンランド⁵⁾は、13世紀にはスウェーデンの統治下に入った。フィンランドの産物はストックホルムなどを經由してハンザ都市⁶⁾へ輸出されるようになり、ハンザ商人がフィンランドのバルト海沿岸にも移住するようになった。また、ドイツ騎士団も同方面で台頭しており、脅威を感じた北欧諸国は1397年、デンマーク王母（ホ）の主導でカルマル連合を結成した。

東方では、15世紀後半に（ニ）国を併合したモスクワ大公国がキプチャク＝ハン国⁷⁾の支配から脱して勢力を拡大し、同国とスウェーデンの戦争の舞台となったフィンランドは荒廃した。

17世紀初頭に即位したスウェーデン王グスタフ＝アドルフ⁸⁾の治下では、フィンランドの行政機構の整備も進んだが、フィン人は重税と兵役に苦しみ続けた。同王が新教側に立って参戦した三十年戦争の結果、スウェーデンはバルト海の覇権を握ったが、それに危機感を抱いて周辺諸国と同盟を結んだロシア⁹⁾が、1700年からスウェーデンとの戦いを始め、そ

4. この王朝は、15世紀初頭には東方からアナトリアへ侵入してきた国との戦いに敗れたという歴史を持つ。この国はどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ティムール朝 b. トウグルク朝 c. ハルジー朝 d. マムルーク朝
5. フィンランド語と同じくウラル語族に分類されている言語はどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. トルコ語 b. ハンガリー語 c. ポーランド語 d. リトアニア語
6. 次のハンザ都市のうち、バルト海に面していないものはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ダンツィヒ b. ブレーメン c. リガ d. リューベック
7. 13世紀半ばにこの国を建てたのは誰か。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. オゴタイ b. ハイドゥ c. バトウ d. フラグ
8. この王について即位したスウェーデン女王クリスティーナは、『方法叙説』の著者として知られる哲学者を招聘した。この哲学者の名をしるせ。
9. ロシアは東方ではシベリアへの進出をはかり、しばしばモンゴルへも侵入していた。国境問題を解決するために清が1689年にロシアと結んだ条約の名をしるせ。
10. この人物が退位に追い込まれるきっかけとなった1813年の戦いはどれか。次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アウステルリッツの戦い b. ヴァルミーの戦い
c. ライプツィヒの戦い d. ワーテルローの戦い
11. この一環としてハンガリーのマジャール人の蜂起があげられる。オーストリアは1860年代に入ってマジャール人の要求を受け入れ、ハンガリー王国の建設を認める協定に同意した。この協定を指す、「妥協」を意味する言葉をカタカナ7字でしるせ。
12. この大戦の後、旧オスマン帝国領のアラブ地域の多くはイギリスかフランスの委任統治領となった。この時フランスの委任統治領となった地域はどれか。次の a～e から2つ選び、その記号を左欄に1つ、右欄に1つマークせよ。順序は問わない。
- a. イラク b. シリア c. パレスティナ d. ヨルダン
e. レバノン

II. 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

紀元前11世紀頃、西周の王朝は封建制という支配体制をとり、土地を家臣に分け与え、¹⁾地方の統治を任せた。しかしその後、春秋・戦国時代に入り、中国に乱世が訪れた。

紀元前3世紀後半、秦王の政は、戦国時代末期の混乱を平定し、中国の再統一を達成した。政は新たに皇帝の称号を採用して始皇帝となり、統治に着手したが、その際、(イ)を施行して国内を区画し、中央集権的国家を築いた。

近世においては、ときに抵抗や反発、反乱を招きながらも、世界各地に中央集権的の支配が多く出現した。明朝では万暦帝を支えた首席内閣大学士(ロ)が、検地や一条鞭法を全国に実施し、財政再建につとめ、官僚に対する統制を強化した。

ロシアでは、イヴァン4世が農奴制を強化しながら中央集権化を進め、ロシア帝国の基礎を固めるとともに、ヴォルガ川中流域のアストラハン=ハン国などを征服し、さらにシベリアに進出するなど領土拡大をはかった。⁷⁾

また、スペインではフェリペ2世が国内で絶対王政を展開する一方、連合艦隊を派遣して、オスマン海軍を(ハ)の海戦で破り、対抗宗教改革を推進するカトリックの盟主の地位を獲得した。

さらに、インドではアクバル帝が支配階層の組織化をはかり、中央集権的な統治機構をととのえた。⁸⁾また、アクバルはヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の融和をはかり、支配の基盤を固めようとした。彼は、自らヒンドゥー教徒の女性と結婚し、ヒンドゥー教徒など非イスラーム教徒に課されていた(ニ)¹⁰⁾と呼ばれる人頭税を廃止した。

オスマン帝国との対立によって、一時勢力をそがれていたサファヴィー朝は、16世紀末に即位したアッバース1世のもとで復興した。彼は(ホ)を新都に定め、オスマン帝国やポルトガル勢力に勝利して、ヨーロッパ諸国と外交・通商関係を結んだ。¹¹⁾

A. 文中の空所(イ)～(ホ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～11)にそれぞれ対応する次の問1～11に答えよ。

1. この国の都の名をしるせ。

2. この時代に活躍した、中国思想の源流となった思想家・学派の総称は何か。その名をしるせ。

3. これに関する次の出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の①に、次に古いものを②に、以下同じように④まで年代順にマークせよ。
- a. デカン高原で、シヴァージーが反ムガル運動を糾合し、マラーター王となった
 - b. ネーデルラントで、新教徒がスペインに対して反乱を起こし、オランダ独立戦争が始まった
 - c. 明が、重税による民衆生活の窮乏を背景とする李自成の乱によって滅亡した
 - d. モスクワ大公国で、農奴制の強化に対してコサックによるステンカ＝ラージンの反乱が起きた
4. この人物の在位期間に関する次の問 i・ii に答えよ。
- i. 1583年にマカオに入り、明の高官とともにエウクレイデスの『幾何原本』を翻訳した、イタリア出身の宣教師は誰か。その名をしるせ。
 - ii. 次の出来事 a～dのうち、もっとも古いものを解答欄の①に、次に古いものを②に、以下同じように④まで年代順にマークせよ。
 - a. アンリ 4 世がナントの勅令（王令）を發布した
 - b. イングランドとスコットランドの同君連合が成立した
 - c. 琉球王国が薩摩藩の支配下に入った
 - d. ロシアで、ロマノフ朝が建てられた
5. 20世紀のロシアでレーニンが死去した後、スターリンは反対派とみなした人びとを排除し実権を握った。世界革命論を唱えながら、スターリンを批判したことで1929年に国外追放された人物は誰か。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. ケレンスキー b. トロツキー c. ブハーリン d. プレハーノフ
6. この国以外で、イヴァン 4 世に征服されたヴォルガ川中流域の国家はどれか。次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
- a. イル＝ハン国 b. カザン＝ハン国
 - c. チャガタイ＝ハン国 d. ヒヴァ＝ハン国
7. 19世紀前半にロシア皇帝ニコライ 1 世によって任命された初代の東シベリア総督は誰か。その名をしるせ。

【以下余白】